

令和元年度全道高等学校新聞コンクールの実施にあたり

北海道高文連新聞専門部
北海道新聞社

全道高等学校新聞コンクールは、北海道での高校生新聞活動の発展と高校生新聞の質の向上を願って、1957（昭和32）より行われているものです。昭和50年からは北海道高文連と北海道新聞社との共催になり今日に到りました。

現在の審査員構成は、学識経験者2名、北海道新聞社4名、高校新聞指導者4名です。この10名による厳正な審査の上、優れた高校生新聞に賞が贈られます。この賞は一生懸命に新聞制作をしている学校の、創造の努力に対する賞賛です。

特に注目して欲しいことは、このコンクールに参加することの意義です。「優秀」とされる新聞に接することによって視野を広くすることができます。全道大会会場ではすべての参加新聞を見ることができます。毎回発行されるコンクール応募新聞の縮刷版は全道の状況を知る大切な資料になる上、活用すれば大規模な新聞交換をしたことと同様の効果があります。

また、コンクールに参加したすべての高校生新聞に対して審査委員会から講評がいただけます。この講評をよく検討することと、縮刷版を参考にすることによって、自分たちの新聞の改善すべき点や活動の指針を得ることができます。また、他校の新聞の長所を学ぶこともできます。このことを通じて全道の高校新聞部・局がより良い活動を展開していくことこそ、主催者の最大の願いです。

「自分たちの新聞や活動に自信が持てない…」という新聞部・局こそ、奮って参加してください。そこから大切なものを得ることができるはずです。